

かわいのみまもり

今年度も残り数日ですが、川合町では大きな事案等の発生もありませんでした。これも、皆さん方のご理解・ご協力及び日々のみまもり活動のおかげです。

令和7年4月、それぞれの学校等の入学が待っている皆さん、そして社会人として一歩を踏み出す皆さんも多くいます。通学や勤務する地域はそれぞれ違いますが、常日頃は「安全安心と危険」は隣り合わせです。自分の身は自分で守ることを心の隅において、安全安心の基本を持ち続けましょう。新年度も、それぞれの学校に新入生が入学します。特に、小学生1年生になる児童の皆さんはこれまでの保育園では車での送り迎えでした。が、小学校は保育園と違って自分の足で歩く『徒歩』による通学となります。集団登校する上級生の皆さん、自分たちの1・2年生頃を思い出して慣れない通学をする1年生に合せて歩きましょう。

1年生も、頑張っている姿を見て下さい。また、中学生になると自転車通学する人もいます。交通安全も車道に位置付けられ、交通法が適用されますので交通ルールを守って交通事故に遭わないようにして下さい。通学路は、車道も多く走行している危険・不安な場所も数多くあります。通学路全てが安全安心ではありません。入学までに、一度自転車通学で通学路を走ってみて危険・不安な場所を覚えては如何でしょうか。そして、自転車に乗るときは、必ずヘルメットを被って方が一事故に对应しましょう。

皆さん新年度も、これまで同様に地域における日々のみまもり活動を宜しくお願い致します。

かわいのみまもりたい
川合町安全連絡協議会

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり④ 山内俊雄

児童疎開の記憶あらたに

昭和20年5月、大阪市立桑津国民学校5年生男女40名が、先生・寮母さんと川合村にやってきました。戦局が拡大の中、集団児童疎開です。写真は、疎開児童たちが7ヶ月間過ごした、学校（安濃郡川合村立国民学校と言った）や生活した寮（青年学校が使われた）を表したものです。



写真は、川合小学校玄関に入って直ぐの壁面に掲げられている

国民学校・青年学校は
昭和12年12月竣工した

学校は5年生を3クラスに分け、それぞれに疎開児童を入れた混合学級でした。双方が机を並べ共に学習し活動するやり方は全国的に珍しい試みでした。そして、学校敷地内にある青年学校を起居などの生活の場にしました。こうした試みは、戦禍に怯え、親元を離れ切なさがかえる児童たちに、安心感を与え違和感や摩擦を取り除こうとの斎藤龍童村長さんたちの英断だったのです。

村にいくことも楽しみで、疎開児の田村悦一氏は「手記」にこう書いています。

「稲刈りの季節には、村の友だちが、家の稲刈りに来るよう誘ってくれたが、手伝いをすれば、昼には米飯のご馳走があり、帰りにはイモや野菜などの土産を寮に持ち帰ることができたのである。（中略）これも、村長さんが疎開児のた

めにと、村民にすすめてくれたことのひとつだったのを、後になって知ったのである。

（松井俊堯氏著書の「二番星は二度輝く」から引用）

担任だった清水（旧姓金森）知恵子先生は、機関誌「がしん」で、次のように振り返りました。

「戦争の時代に新任教師として川合村立国民学校に赴任。未熟な私に数限りない感動を与え続けてくれるのは、あの五年生の教え子たちなのだ。（中略）一年や二年、いや二十年や三十年で人間の心、わけても村民、町民の教育への意識・熱意は培われるものではない。先人たちの努力で「教育の町、川合」と言われていると聞く。今も町民の誇りで鋭意努力がなされていることに、心から敬意を表するものである。」

絆は堅し！

松井俊堯氏は、5年ごと開いた同窓会に想いをよせるのです……。

お悔み

2月に亡くなられた方

南 熊野 詩能婦 様

南 山崎 節雄 様

謹んでお悔み申し上げます。

香典返し

南 熊野 俊昭 様

南 山崎 真二 様

2名の方より、香典返しにかえて金一封のご寄付を頂きました。厚くお礼を申し上げます。お知らせいたします。

（川合地区社会福祉協議会）

さわやかレディース

3月14日、恒例の年度末の旅に斐川のあかつきファーム今在家のいちご狩りに行ってきました。参加者は23名で、みなさん楽しみにしておられ十種類あるいちごを吟味しながら腹いっぱい食べておられました。そしてゆめタウンにより買い物・昼食を食べてからワイナリー見学をして帰路につきました。みなさんからは楽しい一日だったと喜んで頂きました。

たより

カーブミラー清掃

2月7日（金）午後2時30分から川合小学校6年生が、3班に分かれて6ヶ所のカーブミラー清掃を行いました。6年生16名と先生3名、みまもりたい関係者14名が参加しました。車道で通行された方から、カーブミラーが見やすくなったとメールがありました。良かったです。



かわいのみまもりたい
川合小学校

走りました石東駅伝

3月9日、第49回石東駅伝大会が開催されました。川合体協も例年通り参加しました。成績は一部で7位でした。選手は次の通りです。

- 1区 米原 陵次（吉永下）
 - 2区 森脇 夏綺（神領一）
 - 3区 安濃 亮（市）
 - 4区 山根 貴史（神領一）
 - 5区 松田 咲来（市）
 - 6区 菅 信亮（程原）
 - 補員 松田 沙織
- 選手の皆さんご苦労さまでした。



通いの場

3月5日の通いの場は、今年度2回目の体力測定でした。「和から逢う家」理学療法士の石飛健先生と大田市社会福祉協議会の大久保祐貴さんの指導のもとで、楽しみながら2つの種目に挑戦しました。終了後、石飛先生から、「年を重ねるごとに体力が落ちていくのは当たり前。今の状態がどれくらいかを見るのが体力測定。前回と比べ、数値の上がっている方、また変わらないう方も多くいることは素晴らしい」との講評をいただきました。通いの場は、健康と体力を維持していく上で、大きな役割を果たしています。

《4月の予定》

- ◇4月2日(水) 意見交換会
- ◇4月9日(水) 誕生会・ミュージックケア
- ◇4月16日(水) 物部神社に行こう
- ◇4月23日(水) 食品ロスの話・歌と音楽鑑賞
- ◇4月30日(水) 歌の会「優和」のコンサート

【参加者募集】

新しい年度が始まりました。通いの場に来てくださることを、今年度も呼び掛けます。概ね80歳以上の方が対象ですが、75歳以上の方も相談にのります。いつまでも元気に生活するため、一緒に楽しく介護予防に取り組みませんか。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子(電話82-15124)迄ご連絡ください。

川合地域ささえあい協議会

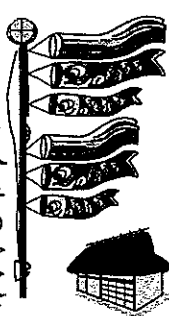
川合小学校卒業式

3月18日(火)、令和6年度川合小学校卒業式が行われました。今年度の卒業生は16名で、一人ずつ校長先生から卒業証書を受け取り、6年間の義務教育を終えたほっとした気持ちと笑顔がありました。9年間の義務教育も、川合小学校での6年間を終え巣立ちましたが、これから中学校での義務教育が残ります。4月からは、大田第一中学校に通学することになり、川合小学校・大田小学校・久屋小学校・長久小学校の皆と一緒に大田第一中学校生徒として学ぶこととなります。3年間頑張った、目指すクラブ活動や勉強に学んで楽しみたいでしょう。

川合町教育振興会
川合まちづくりセンター

“4月の予定”

泳ぐ鯉のぼり



「屋根より高い鯉のぼり...」今年度の予定として、4月23日(日)に川合小学校プールから高台の体育館に架けて春の風物詩「鯉のぼり」を掲揚します。毎年の恒例ですが、今年もリバースの活動事業として会員の皆さんにお願いしています。掲揚期間は、4月下旬から5月上旬の約3週間で登下校する1年生から6年生までの児童の安全安心を見守ります。「鯉のぼり」は、天候に関係なく毎日掲揚していますので傷みも早く破損することでも数多くあります。気のつかれた方は、川合まちづくりセンターまでご連絡して下さい。電話 82-15124です。

川合まちづくりセンター
川合球友会リバース

春の全国交通安全運動

すっかりと、まもるルールで、ねがう安全今年も、春の全国交通安全運動が4月6日から15日までの10日間全国一斉に展開されます。

運動の重点

子どもをはじめとする歩行者が安全に通行でき道路環境の確保と正しい横断歩道の実践

※歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進

※自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

※ヘルメット正しくかぶる安全に

◎4月8日(火) 県内一斉行動日

◎4月10日(木) 交通事故死0を目指すE

◆車両を運転するときは、飲酒運転禁止で「飲むなら乗らない」「乗るなら飲まない」を心がけて下さい、自分のため・家族のため・皆のためです。



春先の運転



「春眠晩を覚えず」で、春はとかくボカボカ陽気で運転中に眠気が起こることもあり得ます。そんな時は、無理をしないで車外で手足を伸ばして軽く体を動かすことや、少しでも休憩をして交通事故防止に努めましょう。山陰自動車道も、出雲市と大田市間が接続されて時間的にも早くなり、更にはスピードを上げて走行することが多々あると思いますが、事故防止のため制限速度で走行しましょう。また運動期間中は、交通安全協川合支部役員と各地区の交通安全委員が町内の重点箇所交通安全の見守り活動を行います。



大田市交通安全協川合支部

川合分団「火の用心」

★全国統一標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」



《火の用心・その1》

※3月1日から7日春季火災予防週間※
この期間中、川合分団では消防輸送車で町内の防火パトロールと火災予防を呼びかけて巡回して周知しました。訓練は、生憎の雨で残念ながら中止にしました。実際の災害発生時は、昼夜を問わず雨も雪も強風等の自然災害も天候に関係なく出動して活動をします。



《火の用心・その2》

3月に入って、大船渡市で広範囲に及ぶ山林火災を始めとして家屋火災等が多発しました。乾燥している時期は、火の取扱いは「これ位なら」と行くと、気象状況等が変わって思わぬ方向に向かうことがありますので注意して自重しましょう。不幸にも、火災による犠牲者もでています。

《火の用心・その3》

川合分団の、令和7年度の役員体制については次のとおりです。分団長を中心として、川合町の防火・防災に努めます。川合町から、火災を出さないよう火の用心を宜しく願います。

◇役員名◇

- 分団長 那須義之(留任) 程原
- 副分団長 森山靖夫(留任) 吉永下
- 部長 清水邦宣(留任) 市
- 第1班班長 梶谷 玄(留任) 程原
- 第2班班長 高木 剛(留任) 吉永上
- 第3班班長 福田秀樹(留任) 忍原

大田市消防団川合分団
川合町消防後援会



投稿欄

『あっちこちちい隊 II』

あっちこちちい隊 II

『あっちこちちい 1』



ビックリしました。先日、川合から市役所方面に向かつて青信号で栄町の交差点に入ったら、こどもあろうか対面は赤信号なのに左車線から堂々と右折して交差点に進入して来ました。たまたま川合方面からの右折車が通過、直進車も自分と後続車の2台でその後ろに後続車がなかったたので交通事故にならずセーフでした。因みに、その自動車は女性が運転していましたが信号に気付いていないのか？ はたまた分かっていての確信犯か？ 何方にしろ運転している本人にしか分かりません。このR375号の交差点は、南北が時間差になっていて初めて通行する車両は信号が分からずに躊躇する車両もまれにあります。

『あっちこちちい 2』

先日重点的に、国道375号の川合町忍原から美郷町境にかけて今年度2回目となるゴミ捨てグミの回収が行なわれました。イタチこっこですが、少しでもこうしたゴミ捨て行為が減ることを願うものです。放置してあると、鳥獣等に食いつくされて周辺に散らばり汚くなって悪臭も発生します。当日も、多くのゴミ回収と不法投棄禁止の看板も設置されました。参加は、環境整備に取組む島根県・大田市・関係組織・関係者で、川合町の看視員2名も参加して活動を行っています。

『あっちこちちい 3』

投稿欄も、第179号で終えます。令和7年度は、第180号から1年も長いです。ハイ。記事を探して「あっちこちちい隊」

“雑記帳”

『雑学 1』

『米価上昇、どこまで上がるのか』と、昨年の販売価格の2倍にはなっています。何処まで上がれば、気が済んで高止まりするのか分かりません。物流は米に限らず、全ての生産品は販売価格が高い程よい、購入する消費者は低価格がよいと反比例しています。とりわけ、私たちが毎日口にする米・野菜等を始めとする食物については、特に今年のように米不足で高価格になり過ぎてはたまったものではありません。何処で、留まっているのやら不思議です。

『雑学 2』

『節分は時化る』と言います。『暑さ寒さも彼岸まで』とも言いますが、この時期には珍しく荒れて雪が降りました。大田の「中日」は、よく雨になると言いますが、雨ならぬ雪の露払いに見舞われました。屋根から、「ザー ドサー」「ベチャ」雪づれが時々起ります。車も人によつては、大体3月になると雪の心配はないと冬用タイヤを替える人もいます。反面、雪に見舞われる所に行く可能性がある人は3月末まで冬用タイヤを装着していいと思います。まあ、各自それぞれの考え方・判断でよいと思います。「早い話が自分の勝手だ...」と。

『雑学 3』

程原と南で圃場整備が進んで、現在行っている工事最終盤に近付いて新しい水田の姿が見えてきました。これまでの小さな段々の水田も、1枚が60a・70aと大きくなり段差も少なく耕作がしやすいと思います。程原は稲作、南はブロッコリー栽培のことです。工事は、残りのブロッコリーが控えています。全体の完成はまだ先のことです。